

103-37

問題文

副甲状腺細胞のカルシウム受容体(カルシウム感受受容体)を刺激して、パラトルモンの分泌を抑制するのはどれか。1つ選べ。

1. テリパラチド
2. シナカルセト
3. レボチロキシン
4. フィナステリド
5. フルタミド

解答

2

解説

選択肢 1 ですが

テリパラチド（フォルテオ（毎日）、テリボン（週一回））は、遺伝子組換え副甲状腺ホルモン誘導体です。この薬は、骨芽細胞の働きを高める骨形成促進剤です。選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。

シナカルセト（レグバラ）はカルシウム受容体作動薬です。副甲状腺機能亢進症に対して用いられます。

選択肢 3 ですが

レボチロキシンは甲状腺機能低下症治療薬です。T₄製剤です。選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

フィナステリド（プロペシア）は抗アンドロゲン薬です。男性型脱毛症に用いられ、進行を遅延させる薬です。選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

フルタミドは抗男性ホルモン薬です。前立腺がん、前立腺肥大症に用いられます。非ステロイドです。選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2 です。

参考 、